

茨城県立水戸農業高等学校 発表要旨

Challenge ～安心・安全な和牛生産を目指して～

今年度から和牛飼育に取り組んだ。茨城県には「常陸牛」という銘柄牛が存在する。茨城県は、肥沃な大地と海や山、川など豊かな自然と、年間を通じて温暖な気候に恵まれた環境のもと、指定生産者がつくりだす、資質豊かな最高級の黒毛和牛である。食肉取引規格 A、B の 4 と 5 等級の格付けされた肉質の優秀なものだけが「常陸牛」と呼ばれている。私たちも、自分たちの手で常陸牛のような牛を肥育し、水戸農高で育てた和牛の肉質について、第三者の客観的な評価が知りたいと思った。

和牛飼育に関する知識はほとんどなく、現在は飼育管理として牛房清掃、給餌、ブラッシングを行っている。給餌方法にもこだわり、はじめに稲わらのみ給餌し、時間を空けて配合飼料と稲わらを給餌している。

また、粗飼料は自家飼料として本校農業科で収穫した稲わらをいただき、給餌している。自家飼料を給餌することで、安心・安全な和牛生産につなげることができると考える。今後は飼料費のコスト削減に向けて、調査を継続して行う。

飼育管理については全農グループや本校 OB の方々にご指導ご助言いただきながら、消費者の方に安心して食べることが出来る和牛を生産していきたい。